

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	学外実習Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	2019-580		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科		対象学年	4		
開設期	集中		週時間数			
教科書/教材	特になし					
担当教員	三留 規誉					
到達目標						
技術者としての学外実習において、工学技術を実践するために以下のことを目標とした実習を行う。						
(1) 就業体験を通して自己の職業適性や将来設計について考える材料を得る。 (2) 学問の実践的な意義を認識する。 (3) 職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	就業体験を通して自己の職業適性や将来設計について考え、より具体的に将来のことを考えることができる。事前レポート・履歴書（自己アピール・志望動機）にその旨記載されている。		就業体験を通して自己の職業適性や将来設計について考えることができる。そのために、事前レポート・履歴書（自己アピール・志望動機）を作成することができる。		就業体験を通して自己の職業適性や将来設計について考えることができない。事前レポート・履歴書（自己アピール・志望動機）を作成することができない。	
評価項目2	学問の実践的な意義を認識し、学習活動の重要性を再認識し、その意欲が見られる。事前レポート及び実習後レポートにその内容について記載がある。		学問の実践的な意義を認識することができる。事前レポート及び実習後レポートにその内容について記載がある。		学問の実践的な意義を認識することができない。事前レポートもしくは実習後レポートにその記述がない。	
評価項目3	職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につけ、実践しようとする姿勢が見られる。提出物のめ切を守り、また、実習に真摯に取り組むことができる。		職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につけることができる。提出物のめ切を守り、また、実習に取り組むことができる。		職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につけることができない。提出物のめ切を守ることができず、また、実習先であいさつや取り組み姿勢などに注意を受ける。	
学科の到達目標項目との関係						
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 5						
教育方法等						
概要	企業や大学、研究機関等での実習を通じて、実習先の研究者等、先輩技術者から指導を受け、これまでに学んだ知識を活かして実際の現場での技術を修得する。 また、学外実習の経験を今後の学習及び自身のキャリア育成に役立て、技術者としての意識を高揚させることを目的とする。 授業で修得した知識や技術が実際の工場あるいは研究機関において、どのように利用・実用化されているか理解する。 長期休暇中に2週間程度の実習を学外にて行う。実習後に報告書を提出すること。					
授業の進め方・方法	学外実習に当たり、以下のように事前学習・実習・事後学習の3段階で授業を進める。 (実習前) ・実習先を選定する。 ・実習先および業界全体について概要を調査し、レポートを作成する。 ・実習先に提出する履歴書を作成する。 (実習) ・実習先の規則やルールを遵守して、工学技術者としての実践学習を行う。 (実習後) ・実習の内容について報告書を作成する。 ・実習の内容について、口頭でプレゼンテーションを行う。					
注意点	評価については、評価割合に従って行います。ただし、適宜追加課題を課し、加点することがあります。 (参考) 学生便覧 沼津工業高等専門学校学外実習規定 第13条 学外実習の単位は、実習時間30時間を1単位相当として認定するものとする。ただし2学年にわたる実習を総合し単位を認定することはできない。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		学外実習説明会において実習におけるマナーを身につける。	
		2週	過去の受け入れ先企業		ダイキン工業	
		3週			三菱アルミニウム株式会社	
		4週			サントリー株式会社	
		5週			東洋インキ株式会社	
		6週			花王	
		7週			日本触媒	
		8週			アステラスファーマテック	
	2ndQ	9週			MeijiSeikaファルマ	
		10週			シミックCMO株式会社	
		11週			中外工業薬品	
		12週			ツムラ株式会社	
		13週			カゴメ株式会社	
		14週	学外実習報告会		学外実習においてどのような内容を実施し、何を得たのかを他者にプレゼンテーションできる。	

後期		15週		
		16週		
	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	提出課題	報告書	発表	自己評価	合計
総合評価割合	10	50	30	10	100
履歴書・エントリーシート	10	0	0	0	10
事前学習レポート	0	10	0	0	10
学外実習実施報告書	0	40	0	0	40
学外実習報告会	0	0	30	5	35
実習中の目標達成	0	0	0	5	5